

西南学院広報誌

あか

れん

が

赤煉瓦通信

Vol. 6

November 27, 2019

～ 一粒の麦から ～

〔特 集〕

西南学院と読書

園児から大学院生まで、さまざまな年代が学ぶ西南学院。

今号では、各校・園・保育所の読書に関する取り組みや図書施設、卒業生作家の著書やメッセージを紹介します。

特集

西南学院と
読書

libraries

知に触れ
学びを深める場所

図書館



各校が工夫を凝らして学びの場を提供している図書館で、知的好奇心を深めています。



西南学院大学

個人でもグループでも自分を磨く機会に満ちた図書館

2017年春に開館した図書館は、吹き抜けの7階建てで180万冊もの本を収蔵でき、閲覧席も1,000席以上を備えます。1階から3階までのアクティブゾーンでは、ディスカッションや発表ができます。また、館内各所では電源とWi-Fiが利用でき、時代に即した学修環境が整っています。手続きを行えば、卒業生も図書館を利用することができます。



法学部国際関係法学科4年
せりざわ ゆうき
芹澤 優紀さん

ラーニングサポートデスクでスタッフをしていることもあり、ほぼ毎日利用しています。授業の予習や試験勉強などの個人の学修は、4～6階のサイレントエリアを、ゼミの活動やディスカッションなどグループで行う学修では、1～3階のアクティブゾーンを利用しています。レポートの書き方や資料の探し方などについて相談できるラーニングサポートでは、ノートPCやipadも貸してくれるので便利です。

西南学院中学校・高等学校

吹き抜けの心地よい空間に
7万5千冊以上の蔵書

吹き抜けの校舎の1階中央に位置する図書館には約7万5千冊以上の蔵書があり、雑誌や新聞、洋書もそろえています。新入生へのオリエンテーションや図書館日よりなどを通して、生徒に触れてほしい本を紹介しています。貸出は、1人3冊まで8日以内で、生徒たちの読書と思索を支援しています。



おもかわ
西南学院高等学校2年 重川 ゆいさん

中学入学以降、ほぼ毎日図書館に通い、図書委員も務めています。昼食を済ませたら図書館に行くことが習慣になっていて、本を借りるだけでなく、後輩や司書の先生方と新刊の話をしながら、読書の楽しみを共有しています。吹き抜けで光に満ちた空間は開放的で気軽に入りやすい雰囲気ですが、1人で楽しみたい時は、閲覧室に行きます。静かで落ち着けて自主学習にも最適です。



いしい めい
西南学院中学校2年 石井 芽生さん

週1～2回、主に放課後に利用しています。中学・高校共通の図書館には蔵書が多く、さまざまなジャンルの本があるので、本探して迷う時は司書の先生方に相談をします。図書館は本を借りるところでもあります。自習スペースがとても静かで集中して勉強できる環境なので、友人とよく利用しています。図書館なら、勉強で分からない点もすぐ本で調べられるので重宝しています。



西南学院小学校

学年に合わせた選書で
楽しみながら身に付く読書習慣

閲覧室は開放的で入りやすく、多くの児童がブレイクタイムやランチブレイクに利用しています。約2万5千冊を収蔵しており、低学年、中学年、高学年それぞれへの“おすすめ100冊”を選定し、2年かけて読破するように働きかけています。よく借りられているのは物語ですが、視野を広げて、世界を知るための雑誌や子ども用の新聞もそろえています。



図書委員のみなさん

うめの ことな
西南学院小学校6年生 梅野 詩乃さん

本を借りる、読むだけでなく、授業中の調べ学習で使う本や資料も図書館で探して利用しています。自主学習のテーマを見つけたり、その内容について書かれた本を探したりと、1冊をきっかけにどんどん深掘りしていけるのも図書館の魅力です。図書委員や司書の先生方による“おすすめ100冊”が紹介され、自分が好きなジャンル以外の本にも出合える工夫がされています。



ページをめくるたびに
ワクワクすくすく

教育と読書



教育の現場で絵本や聖書に触れる習慣を効果的に取り入れ、子どもたちの好奇心や感性を育てています。



西南学院早緑子供の園 ▶ 豊かな感情を育む絵本との関わり

各クラスの絵本コーナーには、子どもの興味・関心に沿った絵本、季節感のある絵本、乳児クラスには温かみのある布製の絵本や、消毒が可能で衛生的な木製の絵本などを準備しています。絵本をめくると知らない世界が広がったり、期待通りの展開に安心したりすることで、創造性や表現力の育ちが支えられま



園内にある図書館(ひかりの子文庫)



読み聞かせをする永尾雄治教諭

西南学院舞鶴幼稚園 ▶ 毎日の読み聞かせタイム

毎日、帰りの輪で読み聞かせをして、子どもたちが絵本や紙芝居など物語に触れる機会をつくっています。物語のさまざまな世界に心を揺り動かしながら味わうことで、本の楽しさと同時に精神的な成長や感情の広がりが生まれます。作品は、各年齢に合わせ、子どもたちの興味関心があるものや触

れさせたいものを選んでいきます。友達と一緒に体験することで、同じ場面で笑ったり、固唾を飲んだり、共感しながら見ているようです。32年前に母親たちの思いで創設された「ひかりの子文庫」にて月2回ほど親子で絵本を借りて、お家でも読み聞かせをしていただいています。



世界でいちばん多くの人に
読まれている本
「聖書」

聖書は、西南学院の皆さんなら誰もが持っているキリスト教の教えが詰まった1冊です。世界一発行数が多い本であり、2017年の一年間だけでも世界の各聖書協会から約3800万冊頒布されています。かつてアブラハム・リンカーン大統領は「聖書は、神が与えた最高のプレゼント」と表現しています。それほどまでに多くの人に読まれ、支持されている理由の一つは、人はなぜ生まれ、何のために生き、どこへ行くのかといった、全ての人の共通の疑問に対する答えが記されているからです。理解や解釈が難しいと感じた時は、先生に尋ね、少しずつ読み進めてみてください。

COLUMN



学生時代について
本を読む習慣は
一生の宝物

西南学院高等学校 教諭
(図書主任)
にし てるひさ
西 輝久

本を通して、自分と向き合う時間を大切に

若い時期に読書を通じて、自分が普段接している世界以外のことを知り、その知識をもとに自分の内面を見つめることは確かな自己形成につながっていくと思います。個人的に経験できることには限りがありますが、先人たちが遺してくれた本に触れることで、自分を取り巻く世界の新たな側面を発見することができるかもしれません。そうして内側を豊かにしていくことで、問題に直面して決断を迫られるような場合に求められる

引き出しを増やしておくことができます。

中高生は勉強やクラブ活動に忙しく、なかなか読書に多くの時間を割けません。しかし、日常で使用する情報満載のパソコンやスマートフォンなどから離れ、幅広いジャンルの紙の本を月に1冊でも読む習慣をつけてほしいと願っています。読書を通して、周囲の人々のさまざまなものの感じ方や考え方を理解し、共感する生き方が身に付くことを期待します。

特集

西南学院と
読書

同じ学び舎で過ごした先輩方の本を読んでみよう



選考委員満場一致で
直木賞を受賞した青春ミステリー

【流】

ひがしやま あきら

東山 彰良 著／講談社／2015年

(西南学院高等学校卒業・西南学院大学経済学部卒業・西南学院大学大学院経済学研究科修了)

台湾出身、福岡在住の著者が第153回直木賞を受賞した作品。舞台は、1975年の台北。偉大なる総統・蒋介石が死んだ翌月に、愛すべき祖父が何者かに殺された。自分をかわいがってくれた祖父殺しの犯人を捜すべく、受験勉強を放り出し、台湾から日本、中国大陸へと渡る17歳の少年・秋生。家族と共に流浪しながら、出会いや決断を通して成長していく姿を描く。

1



都市の生活者の深層を
官能的に描いた芥川賞受賞作

【運転士】

ふじわら ともみ

藤原 智美 著／講談社／1992年

(西南学院中学校卒業)

主人公は若い地下鉄運転士。全てのことが規則正しく、整理整頓されていないと気が済まない性格ゆえ、安定した職を選んだ。それが徐々に崩壊していくきっかけは、鞆の中に入っている空想の中の女性。無機質だった存在が徐々に有機的になるにつれ、日々は不確実性に侵食されていく。トンネルの闇と駅の光が照らす都市生活者の深層を官能的に描き出す、第107回芥川賞受賞作。

3

2

現役の精神科医である
経験と知識を
存分に生かした
本格ミステリー

【男は残酷で考えが浅い】

ふかほり げんぶん

深堀 元文 著／ルネッサンス・アイ／2019年

(西南学院中学校卒業)

福岡市にある病院の理事長・院長を務める現役の精神科医・医学博士でありながら、小説の執筆を続ける著者の最新作。精神科研修医の鹿沼知加子は、閉鎖病棟に入院するある女性患者の主治医を任される。自らの性格を回避性パーソナリティと分析する鹿沼。殺人容疑がかけられる中、クロスする過去の扉を開け、人間の闇に立ち向かっていく様を描く。

INTERVIEW



卒業生作家にインタビュー

上品な生徒が多い校風に憧れ、西南学院中学校を志願しました。毎朝の聖書朗読の時間は、西南学院ならではの思い出として印象に残っています。当時から、漠然と医師になりたいと思っていたので勉強第一で緊張感を持って過ごしていましたが、ストレス解消法は「読書」でした。毎日30分本を読むだけでストレスが68％軽減されるともいわれ、私にとっても知識や知性の源でした。中学生の頃、ちょうど川端康成氏がノーベル文学賞を受賞した時期で、私の文学への関心も高まっており、夏目漱石や森鷗外、芥川龍之介の

作品を読みふけていました。

現在は、医師としての使命や責任を果たし、患者さんが良くなっていく様子を見てやりがいを感じています。病院経営をしながらテレビやラジオに出演したり、小説も書き続けています。近々、文芸社より「前世療法探偵(仮)」がシリーズ化されることが決まっているので、続編を書き続けていくことが今の目標です。

学生時代は勉強することと遊ぶこと、このバランスが大切です。とにかく好きなことを精一杯やることで、必ず道は開けます。

ふかほり げんぶん
深堀 元文 さん

1955年生まれ。福岡市出身。精神科医。西南学院中学校を卒業後、九州大学にて医学博士号取得。現在は、今宿病院の院長を務める傍ら、テレビやラジオにレギュラー出演。心理学の専門書や小説など著作多数。昨年、厚生労働大臣表彰受賞。



西南学院の各校を卒業し、小説やノンフィクションを執筆されている先輩方がいます。
ここでは、直木賞などの受賞作品や卒業生作家自身が選んだ本について紹介していますので、
ぜひ、ページをめくってみてください。



4

デビュー作にして
芥川賞＆文学界新人賞受賞

【影裏】

ぬまた しんすけ
沼田 真佑 著／文春文庫／2019年
(西南学院大学商学部卒業)

著者デビュー作にして、2017年に第122回文学界新人賞＆第157回芥川賞を受賞。出向で岩手に移り住んだ今野は、同僚の日浅と出会い、仲良くなる。程なく退社した日浅とは縁遠くなっていたが、東日本大震災を機に、その消息を追うことに。日浅の家族や周辺を辿るうちに知らなかった日浅の一面を知る。文庫版には「影裏」のほか、単行本未収録の「廃屋の眺め」、「陶片」を併録。

5



困った人々に
手を差し伸べ続けた30年を
振り返る著者初の自伝

【天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い】

なかむら てつ
中村 哲 著／NHK出版／2013年
(西南学院中学校卒業)

1984年よりパキスタン、アフガニスタンで支援活動続け、2019年6月に福岡アジア文化賞の最高賞・大賞を受賞した医師・中村哲氏。治療のために現地へ赴いた日本人の医者が、なぜ1,600本もの井戸を掘り、25kmにも及ぶ用水路を拓くに至ったのか。「天(自然)」と「縁(人間)」をキーワードに、半生をつづった著者初の自伝。



不条理な運命に翻弄されつつも
2人の武士が貫いた静謐な覚悟を描いた
直木賞受賞作

【蛸ノ記】

はむろ りん
葉室 麟 著／祥伝社／2011年
(西南学院大学文学部卒業)

第146回直木賞を受賞。不条理にも無実の罪を背負わされ、幽閉先で家譜編纂と10年後の切腹を命じられてしまった元郡奉行・戸田秋谷とその監視を命じられた青年武士・庄三郎。過酷な運命に翻弄されながらも、気高く凄絶な覚悟を山間の風景の中でうたいあげた感涙の時代小説。同作は、役所広司、岡田准一出演で映画化されたことでも話題に。

6

INTERVIEW



卒業生作家にインタビュー

洋風で、風通しの良さそうな雰囲気惹かれ、西南学院大学に入学しました。在学中は、図書館で海外文学を読みふける一方、天神や中洲に出かけてはストリートミュージシャンや役者の卵、路傍の画家といった魅力あふれる人物と数多く出会いました。大学で密かに楽しみにしていたのがキリスト教に関する講義で、他にはドイツ文学の講義でカフカやノヴァーリスの世界に触れ得たことも収穫でした。

私は作家として、毎日何か書くということを目指して生活しています。アマチュアを感じです

が、どんな仕事においても、素人的な情熱(初心)は大切だと思います。読書は、他者の言葉に耳を傾けることであり、まだ見ぬ自分との出会いに通じる実りある行為です。安あがりで、一人でできるのも魅力。

「書きたいこと」と「書けること」、「書いていること」の三つが一致する幸福な瞬間に私はいつか立ち会いたいと思っています。夢というのは、それがあるだけで人生を豊かにしてくれます。皆さんも、その実現性にあまりこだわりすぎずに、一生の宝として、夢を持ち続けてほしいです。

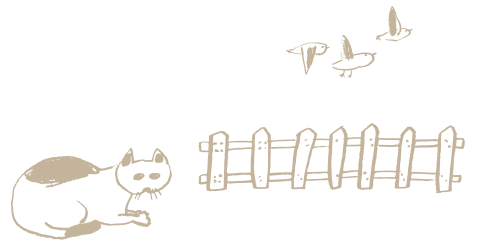
ぬまた しんすけ
沼田 真佑 さん

1978年生まれ。北海道・小樽市出身。2002年、西南学院大学商学部を卒業後、20代前半から小説を書き始め、会社勤めを経て、東日本大震災をテーマにしたデビュー作「影裏(えいり)」で第157回芥川賞、第122回文学界新人賞を受賞。岩手県盛岡市在住。



卒業生を訪ねて

西南学院で学び、さまざまな場所や分野で個性を輝かせている卒業生の皆さんに、今のお仕事の話や在学中の思い出を語っていただきます。



会社のマスコットキャラクター“ももピッ!”とパチリ。ラジオパーソナリティやイベントのMCなど、毎日多忙な武田アナ



フランス留学で初めて福岡を出て、改めて福岡の魅力にも気づき、外に出ることの意義の大きさを感したそう

(Memories)

在学中のさまざまな経験が新しい挑戦への原動力に

RKB毎日放送株式会社 アナウンサー

ただいお

武田 伊央さん

2017年 西南学院大学文学部卒業

RKB毎日放送でアナウンサーとして情報番組「今日感テレビ」を担当し、福岡の生の情報を皆さんにお届けしています。中学・高校では陸上一筋でしたが、自分の可能性を広げるために新しい挑戦がしくて、語学に力を入れ、留学生制度も充実している文学部外国語学科フランス語専攻に入学しました。2年次から2年間、福岡親善大使として福岡の街の魅力を発信することで、福岡の良さを再認識しました。また、4年次には派遣留学で10カ月間フランスに滞在しました。留学期間中にテロが起き、有事の際に現場で見聞きた情報を伝える大切さを痛感したことがアナウンサーになりたいと思ったきっかけの一つです。在学中、挑戦したいという気持ちをいつも応援してくださった先生方には感謝しかありません。

仕事では日々、私に務まるだろうかと不安になることもありますが、在学中に得た数々の出会いや経験が前に進む原動力になっています。

人の話に耳を傾ける習慣は中学時代のチャペルから

西南学院で学べて良かったと感じる場面は卒業後もたくさんあります。自主性を育て、個性を伸ばす自由な環境のおかげで好奇心旺盛になり、今も自社の商品開発や人材育成はもちろん、店で出すコーヒーの豆選びなど、多方面に関わることを楽しめています。経営は、時に孤独ですが、先人の話を聞き、柔軟に取り入れることで道が開けることも少なくありません。こうした傾聴の習慣も、学生時代にチャペルで過ごすうちに養われたように思います。中学時代の私は、好きなことにこだわり過ぎる一面がありましたが、個性豊かな先生方や仲間たちのおかげでますます世界が広がりました。

私が通っていた頃は男子校で、校舎も制服も今とは違いましたが、今は息子たちが通っているので新しい制服や校舎にも愛着があります。当時チャペルで座っていたイスが現在の校舎の廊下に置かれていたり、変わらない景色が残るのもうれしいですね。

株式会社千鳥屋本家 代表取締役社長

はらだ みきのり

原田 実樹宜さん

1983年 西南学院舞鶴幼稚園卒園

1992年 西南学院中学校卒業



同窓会の学年幹事を任せられ、今でも当時の同窓生と連絡を取ったり、顔を合わせることもめずらしくないそう



中学時代、バレーボール部の仲間と。バレーボール一筋で「勉強よりも熱心だったかも」と原田さん(写真右端)

(Memories)





感謝とともに食卓を囲む習慣を

—松村 「食」は子どもたちが心身共に健康に成長する上でとても大切なものです。保育園と小学校では子どもの発達段階に違いがありますが、園ではどのように食育を進めていますか？

—太田 保育園は年齢や登園時間がそれぞれ異なるので、全員がいつも同じタイミングで食事を取るわけではありません。しかし、給食やおやつを作ってくれた方や神様に感謝のお祈りをする習慣は共通です。

—松村 小学校でも食べ物の命、多くの方々の働きがあって食べることができるということを理解し感謝する心が育つよう、食べ物の産地や栄養、調理の工夫をランチタイムに話します。また、マナーや食習慣に関する話も伝え、子どもたちの成長に役立つよう努めています。

—太田 誰かと食卓を囲む中で、子どもたちは食文化に触れ、社会性を身に付けていきます。調理してくれる栄養士と顔を合わせて「今日はこんなおかずだよ」「たくさんおかわりしてね」と何気ない会話をする機会も有意義です。食べることは生涯にわたって続くので、幼い頃からの食育は将来の糧になると思います。



年長児はお泊まり保育で調理を体験。食に触れる共同作業を楽しむこといい思い出に

食との関わりを楽しむ

—松村 小学校では2年生が年2回、野菜の苗や種を植え、毎日水やり、雑草抜きなどお世話をします。小さな実を初めて発見した時の嬉しそうな顔が素敵です。そして、収穫

学びの現場から

西南学院の各校・園・保育所では、
学生、生徒、児童、園児の成長のために教職員が一丸となり、
より良い教育を目指して
日々さまざまな取り組みを行っています。



[西南学院早緑子供の園(保育所)・主任保育士]

おた みどり
太田 翠



[西南学院小学校・栄養教諭]

まつむら なこ
松村 奈子



小学校の畑で野菜を育てる2年生の生徒たち。夏はミニトマトやキュウリ、なす、冬はほうれん草や大根、ニンジンなど、収穫した野菜を全員で食べるパーティーも開かれる

した野菜は、学校で野菜パーティーをして、いただきます。「今まで食べたサラダの中で一番おいしい!」「苦手なピーマンもおいしい!」「自然ってすごいね」と時間をかけて育てることで「食」への関心や大切にすることが身に付いていきます。

—太田 保育園でも園庭の畑で野菜を育てるのですが、芽が出て、花が咲き、実る過程を見守るおかげで、収穫後に嫌だった野菜を食べてみようとする姿も見られます。園児たちも食事への意識が変わるようです。



食事の前につけてくれた方や神様に感謝する祈りの時間があるのは西南学院ならではの

—松村 食は家庭でも重要な要素ですが、保護者の方々に伝えていることはありますか？

—太田 普段嫌いな野菜を給食で小さく刻んでスープにしたら食べたときなど、良い変化やアドバイスできることがあればお伝えしています。園では定期的に育児講座を行っていますが、食に関する講座は参加者が多く、関心が高いテーマです。ご自宅でもできる範囲で食の楽しさを共有してほしいと伝えています。年長児のお泊まり保育では全員で調理をしますが、ご家庭でも野菜を買うときに「どれにする?」と一緒に選んだり、食べ物のクイズを出したり、日常的に「食は誰かと楽しむもの」というイメージを共有できたらと思います。

—松村 小学生は家庭で毎日お手伝いをさせていただきたい。食器を並べることや野菜を1つだけ切るという簡単なことでよいのです。それから家族と食卓を囲み会話をたくさんしていただきたい。子どもたちは愛され認められていることを実感し健やかに成長していくはずだ。



西南学院History

【第1回／元寇防塁】

100年以上の歴史を誇る西南学院には、後世に伝えるべき歴史やストーリーがたくさんあります。このコーナーでは西南学院にまつわる歴史を紹介していきます。

西南学院にあの「元寇防塁」が！ 蒙古襲来から日本を守った伝説の石壁

皆さんは、西南学院に「元寇防塁」があることを知っていますか？ 今から20年前の1999年、大学1号館を新築していた際に元寇防塁の遺構が発見されました。発見されたものは、石積みは基底部をわずかに残すほどで保存状態は良くありませんでしたが、石塁の南側に約1mの間隔をおいて幅1.5m、高さ1.3mほどの粘土と砂を交互に積み重ねた土塁が検出されました。元寇防塁の遺構で土塁が発見されたのは歴史上初めてで、土塁から見て北側（海岸線側）に並行して石塁の土台部分の石が所々に残っていました。つまり西新地区付近の元寇防塁は石塁と土塁の二列構造になっているという新たな事実が明らかとなったのです。その重要性を考え、元寇防塁研究に新しい視点を提供する歴史資産として、大学敷地内に移設、復元されることになりました。西南学院大学で発掘された石塁と土塁の二列構造である元寇防塁は、他の元寇防塁跡には無い、西南学院大学元寇防塁跡のみの特徴です。

元軍の襲来に備えて造られた元寇防塁

元寇防塁とは今から700年以上前、鎌倉幕府が元軍の襲来に備え、九州各国の御家人などに海岸沿いに造らせた防衛施設です。元寇防塁は現在の今津(福岡市西区)から香椎(福岡市東区)まで約20kmにおよびますが、半年という短期間で築かせたため分担地域で同時着工の状況にあったと思われる、そのため分担国によって築造の方法が異なっていま

す。防塁の前面(海側)に石積みする点は共通しますが、大隅国や日向国が分担した今津地区では後面も石積みし内部に石材を詰める堅牢な造りになっており、肥後国が分担した生の松原地区では石積みは前面のみにとどまっています。そして、西南学院がある西新・百道地区では、粘土で基礎工事を行い、防塁の両面を石積みで整え、中に粘土と砂を詰めて石材を節約している造りになっています。



元寇防塁は大学中央キャンパスの1号館1階にあり、一般公開している。歴史を学ぶ一般の方や学生・生徒たちに喜ばれている

西南学院大学内に移設、復元している元寇防塁跡は、大学中央キャンパス1号館1階にて一般公開しています。ぜひ一度、西南学院にある歴史的遺産を見に来てみてはいかがでしょうか。

公開のご案内

『元寇防塁移設復元展示コーナー』

(大学中央キャンパス1号館1階)

平日・土曜日：午前9時～午後5時

(日・祝日の公開はありません)



1918年に西南学院が福岡市大名(現 中央区赤坂)から西新に移ってきた頃に構内で見つかった元寇防塁跡。現在、1号館1階に移築されたものとは違うが、この地の歴史を感じさせる1枚



2.4mの本体の両面を石積みで堅固に整え、中に粘土と砂を交互に詰めて造られた防塁は歴史上初の出土であった

SEINAN GAKUIN information

～西南学院からのお知らせ～

西南学院コンサート

「嘆きと賛美
～苦しみの極みと死後の
至福を求めて～」のご案内

西南学院コンサート「嘆きと賛美～苦しみの極みと死後の至福を求めて～」を開催いたします。ぜひ、お誘いあわせの上、コンサートをお楽しみください。



日時:2020年1月11日(土)
開演:15時00分(開場14時30分)
会場:西南学院大学チャペル
※字幕付き

チケット:一般 前売り2,000円
(当日)2,500円 (学生) 500円
※未就学児の入場はご遠慮ください

指揮:安積道也
合唱:エリザベト シンガーズ
オルガン:杉本周平
チェロ:高橋弘治
テオルボ:笠原雅仁

【お問い合わせ】
(株)キャンパスサポート西南
TEL.092-823-3274

2019年度
西南学院コミュニティー
クリスマスのご案内

地域の皆さまと共にクリスマスをお祝いする「西南学院コミュニティークリスマス」を開催いたします。今年度で27回目を迎えます。今回は、数々のテレビ番組主題歌・CMソングを手がけているシンガーソングライターの陣内大蔵氏をゲストにお迎えします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。



日時:2019年12月20日(金)
開会:18時30分(開場18時00分)
会場:西南学院中学校・
高等学校チャペル
(福岡市早良区百道浜1-1-1)

入場料:無料

プログラム:陣内大蔵氏による
メッセージ&
クリスマスコンサート
～クリスマスの恵みをともに～

【お問い合わせ】
西南学院 総務部
キリスト教活動支援課
TEL.092-823-3336

西南学院大学博物館特別展Ⅱ
「聖母の美
—諸教会におけるマリア神学と
その芸術的展開—」のご案内

大学博物館では、2019年度特別展を開催しています。本展覧会では、聖母マリアを主題とするさまざまな芸術を、神学思想と共に辿っていくことで、聖母の美の多様性と普遍性に迫ります。



会期:2019年11月1日(金)～
2020年1月25日(土)
【前期】11月1日(金)～12月14日(土)
【後期】12月17日(火)～1月25日(土)

会場:西南学院大学博物館
1階特別展示室・2階講堂

休館:日曜日
12月16日(月)、25日(水)、
28日(土)～1月5日(日)

入館料:無料

【お問い合わせ】
西南学院大学博物館
博物館事務室
TEL.092-823-4785

メールマガジン
『西南学院Letter』に
ご登録ください！

メルマガ『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。

ぜひ
ご登録ください



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に、設定をお願いいたします。

【発行】
学校法人西南学院
総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
E-mail:koho@seinan-gu.ac.jp

無料アプリ「聴くドラマ聖書」に
卒業生で俳優の
井上芳雄さんがイエス役で出演

俳優の井上芳雄さん(舞鶴幼稚園卒園・西南学院高等学校卒業)がイエス役として出演するスマートフォンアプリ「聴くドラマ聖書」が日本G&M文化財団から、今秋公開されました。聖書の世界をドラマ仕立てで再現しています。



井上芳雄さん

詳しくは
こちらから



西南学院大学サポーターズ募金ご協力をお願い

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向にそった目的に使用するために使途をお選びいただけます。皆さまのお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いします。

選べる使途の
種類>>>

- 1

大学給付
奨学金
- 2

教育・研究
活動支援
- 3

スポーツ・文化
活動支援
- 4

グローバル人材
育成支援
- 5

ボランティア
活動支援

寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

銘板掲載対象

- 【個人】5万円以上
- 【団体】10万円以上
- 【法人】50万円以上
- の寄付をいただいた方



西南学院大学サポーターズ募金に
に関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248 FAX:092-823-3249
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学サポーターズ募金
ホームページはこちら▶▶▶



SEINAN TOPICS

各 学 校 ・ 園 ・ 保 育 所 の 近 況

西南学院早緑子供の園（保育所）

創立70周年記念式典を行いました

2019年6月、創立70周年を迎えるにあたり、これまでの歩みに感謝し、未来に思いを馳せて祈る記念式典を行いました。大きな戦争や天災に見舞われたこともありましたが、いつも神様に守られ、多くの方々の温かく力強い思いに支えられてきたこと、長い歴史の延長線上に今があることを再認識できました。



年長児お泊まり保育と大濠公園ウォークラリー

年長児が園舎に宿泊する「お泊まり保育」の最後に、大濠公園ウォークラリーを行いました。5人グループになり、「ボートの数は?」「浮見堂の屋根の色は?」など、首から下げたカードのクイズの答えを探しながら巡りました。がんばった子どもたちに贈られたチューリップの球根は来春花を咲かせるでしょう。



西南学院早緑子供の園 —今後の予定—

2019年
12月7日 こひつじクリスマス（0、1、2歳児）
12月21日 さみどりクリスマス
2020年
1月18日 育児講座②、小学生同窓会
2月29日 クリーンアップ大作戦
3月3日 卒園礼拝
3月11日 お別れ遠足
3月21日 卒園式

西南学院舞鶴幼稚園

年長児から次の年長児へ 雑巾のプレゼント

舞鶴幼稚園では、年長児に進級すると、毎朝保育室前の廊下を雑巾がけします。卒業前には次の年長児のために雑巾を縫い、プレゼント。最初は前進するのも難しかった子どもたちも、毎日続けることで手足の力がつき、颯爽とかけられるようになります。真っ白だった雑巾があっという間に真っ黒になるのががんばった証です。



仲間と力を合わせて「タイヤ引き」

仲間と力を合わせ、自分たちの陣地にタイヤを引っ張り、たくさん入れた方が勝ちという「タイヤ引き」。はじめは1個のタイヤで行っていましたが、3個、5個と数を増やし、今は7個のタイヤをみんなで引っ張っています。力の強さだけでは勝てないので毎回作戦を考えては白熱した試合を繰り広げています。



西南学院舞鶴幼稚園 —今後の予定—

2019年
12月14日 クリスマス祝会
12月17日 もちつき大会
2020年
2月中旬 春をよぶ会（生活発表会）
3月1日 卒業礼拝
3月14日 卒業式
3月20日 子ども同窓会

西南学院小学校

自分たちの育てた野菜で 夏野菜パーティー

毎年2年生は、生活科の授業の一環で、校内の畑で野菜を作り、水やりや草取りをして、一生懸命お世話します。今年は収穫直前に鳥に食べられるハプニングもありましたが、ネットを張るなどして無事収穫。命を大切にする心や感謝することを学んで、7月の収穫パーティーでおいしくいただきました。



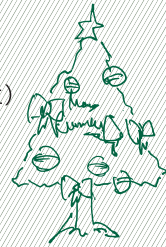
「花の日チャペル」を開催しました

6月上旬、全校児童が1人1輪ずつ花を持ち寄り、お世話になっている学内や地域の方々に感謝を伝える「花の日チャペル」を行いました。「人も花も1本1本色や形が違えど、美しく等しく素敵な存在だから自分や友人を大切に」というメッセージとともに愛や感謝について考える1日となりました。



西南学院小学校 —今後の予定—

2019年
12月17日 クリスマスチャペル
2020年
2月7日 学習発表会
2月15～21日 ウイングツアー（6年生）
3月16日 卒業礼拝
3月17日 第7回卒業式



西南学院
舞鶴幼稚園・教諭
するが ゆり
駿河 優里

休日はアクティブに ラクロスの審判を楽しんでいます！

休日は、学生時代にプレーヤーとして没頭していたラクロスの審判を楽しんでいます。スピードを味方につけて、10人対10人で点を取り合う激しいスポーツなので、審判もやりがいがあります。本気で志す目標や心から好きなことがあると笑顔や出会いが増え、日々が充実します！



日本ラクロス協会九州地区の審判として活動中。関東や関西の試合でも笛を吹くことが目標



年齢や地域の境なく、さまざまな考えを持った仲間と交流することも楽しみの一つ。写真右端が駿河先生

西南学院中学校

鷲のように翼を張って（イザヤ書40章31節）
全力を尽くした体育祭

9月16日、晴天に恵まれた体育祭で、生徒たちは存分に西南スピリットを輝かせてくれました。随所で発揮された団結力、創意工夫、何より東京オリンピックの大会ビジョン「全員が自己ベスト・多様性と調和・未来への継承」を意識した学校応援は壮観の一言で、中学生が秘める無限の可能性を感じました。



「全日本中学校陸上競技選手権大会」
3年連続出場!!

陸上競技部3年生の苗晟喬くん、久富祐奈さんがそれぞれ福岡県大会で優勝し、8月に全日本中学校陸上競技選手権大会に出場しました。苗くんは四種競技で全国16位に、久富さんは100m・200mの2種目に出場し、大舞台で自己記録を更新。ジュニアオリンピック大会の福岡県代表にも選出されました。高校でもさらなる飛躍が期待されています。



久富祐奈さん 苗晟喬くん

西南学院中学校 ―今後の予定―

- 2019年
- 12月19日 クリスマス礼拝
- 2020年
- 3月6日 合唱発表会
- 3月10日 卒業礼拝
- 3月16日 修了式

西南学院高等学校

今年の西南祭テーマは
「燭-Be the light of the world」

7月12日・13日、西南祭(文化祭)が開催されました。12日は、「非常食」と「飢餓問題」などの社会問題の同時解決を目指すパン・アキモト代表取締役の秋元義彦氏の文化講演を行い、13日の一般公開日は校外から多くのお客様が来場。テーマにふさわしい装飾や出展が校内を彩りました。



女子ヨット部
「全国高等学校ヨット選手権大会」出場!!

福岡県予選大会において女子ヨット部3年生の瀧心海・和田紗季ペア、野見山紗矢・南茉穂ペアが1・2位になり、共に全国大会への切符を手に入れました。全国大会当日は台風で7レース中4レースのみの戦いになり、団体は1レース目は6位と健闘しましたが、最終的には15位に。瀧・和田ペアは国体にも出場し、健闘しました。



西南学院高等学校 ―今後の予定―

- 2019年
- 12月18・19日 クリスマス礼拝
- 2020年
- 2月28日 卒業礼拝
- 3月2日 第72回卒業式



西南学院大学

「西南学院大学のみなさんへ
from MISIA×JICA講演会」を開催しました

7月26日、大学チャペルにて、本学出身で歌手のMISIA氏による講演会「西南学院大学のみなさんへ from MISIA×JICA」を開催しました。講演会では、一般財団法人mufef理事としてアフリカの子どもの教育支援に尽力しているMISIA氏から、実体験を交えながらアフリカの現状や日本とアフリカとのつながりについてお話いただきました。



RKB毎日放送株式会社と
包括的連携に関する協定を締結しました

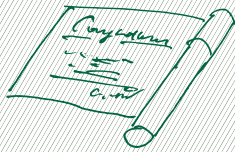
7月16日、RKB毎日放送株式会社と包括的連携に関する協定を締結しました。放送局と連携協定を結ぶことは初めてです。G.W.パークレー学長は「今回の協定に基づき、グローバル社会に貢献できるさまざまな取り組みを行っていきたい」と今後の発展に期待を寄せました。



RKB毎日放送・井上良次社長とG.W.パークレー学長

西南学院大学 ―今後の予定―

- 2020年
- 2月5日 一般入試(～8日)
- 3月19日 卒業式・学位記授与式



西南学院高等学校・
新特別講師
にしだ としろう
西田 俊郎

弦楽器や合唱といった音楽が
空気のような存在に

高校時代からピオラとバイオリンを続け、今は高等学校弦楽部の指導をしています。合唱も好きで、鳥飼バプテスト教会の聖歌隊の指揮者として日々仲間たちと練習に励んでいます。音楽という趣味のおかげで、台湾の教会で演奏を披露する機会にも恵まれました。音楽は、私の人生に無くてはならない存在です。



台湾の教会の礼拝に出席し、特別賛美を行う
妻にバイオリンで伴奏したこともいい思い出



バイオリンを奏でる西田先生。好きな音楽で
人が喜んでくれることがうれしいそう

Memo

キリスト教 \ なるほど / メモ

「豚に真珠」

「豚に真珠」の語源は、聖書に書かれている「神聖なものを犬に与えるな。真珠を豚に投げるな」(新約聖書 マタイによる福音書7章6節)という言葉です。今と同様、値打ちがわからないものに価値あるものを与えるだけ無駄という意味ですが、加えて、良かれと思ってしたことでもむしろ恩を仇で返されることもあるという教訓も含んでいます。

next ▶▶▶ 次号特集は「西南学院とスポーツ」

院長コラム

聖書の一節から

From the Bible



*Each of us must please our neighbor
for the good purpose of
building up the neighbor.*

おのおの善を行って隣人を喜ばせ、
互いの向上に努めるべきです。

(ローマの信徒への手紙 15章2節)



西南学院 院長
G.W.パークレー

これは今年度の学院聖句の箇所です。学院聖句に基づくテーマは「同じ西南学院で働くものとして、互いに尊敬をもって仕え合う」ということになりましたが、このテーマには教職員だけでなく、学院に連なる学生や生徒、児童、園児の皆さんにとっても重要なキーワードが含まれています。それは「尊敬」(Respect)、「仕え合う」(Service)、「支え合う」(Support)の三つです。私た

ちは皆違います。男性と女性、日本人と日本人以外の方、性格も考えもさまざまです。しかし、相手を尊敬し、お互いに助け支え合うことこそが、今後のグローバルな社会において多様な文化や価値観を理解するための第一歩であるといえます。西南学院につながる皆さんが今年度の聖句のキーワードを心に刻み、日々の生活の中で実践していただければと願っています。

School Organization Chart

1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育をしています。 ※データは2019年5月現在



西南学院大学

学生数:約8,200人

1949年開設。人文・社会系総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。

長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



西南学院高等学校

生徒数:約1,300人

全学年、毎日0限目から6限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。

知識の習得はもちろん、物事の良し悪しを判断する知恵と「自分にして欲しいことを隣人に行う」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会に生かしていくかを学びます。



西南学院中学校

生徒数:約650人

一人ひとりが授かった能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。

6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと豊かな環境の中で、生徒たちが存分に知識や能力を伸ばすと同時に、聖書に示されている価値観や人生観を学んだり、クラブ活動や国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



西南学院小学校

児童数:約420人

2010年に開校した、西南学院の中で最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人愛を育む」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。

環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育の質的向上が図られています。



西南学院舞鶴幼稚園

園児数:約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかでたくましいひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちをくみ取ることができるよう、各クラスを複数担任で受け持っています。

思いやりの心を培いながら、個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実践しています。



西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数:約90人

0歳児から6歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気ときめ細かな育児を心がけています。

「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育んでほしいと願い、保育を進めています。

Vol. **6**
November 27, 2019

西南学院広報誌

あか れん が

赤煉瓦通信

～ 一粒の麦から ～

2019年11月27日発行(年2回発行)
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL.092-823-3248

【「一粒の麦」について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくことこそが創立者の思いであり、それは今もなお大切に受け継がれています。

西南学院

<http://www.seinan-gakuin.jp>

西南学院大学・大学院

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

西南学院舞鶴幼稚園

西南学院早緑子供の園(保育所)